

アクティブ・ラーニング&カリキュラム・マネジメント サミット 2019

これからの時代に求められる資質・能力を育むための
カリキュラム・マネジメントの在り方に関する調査研究

静岡県教育委員会における カリキュラム・マネジメント調査研究

静岡県総合教育センター



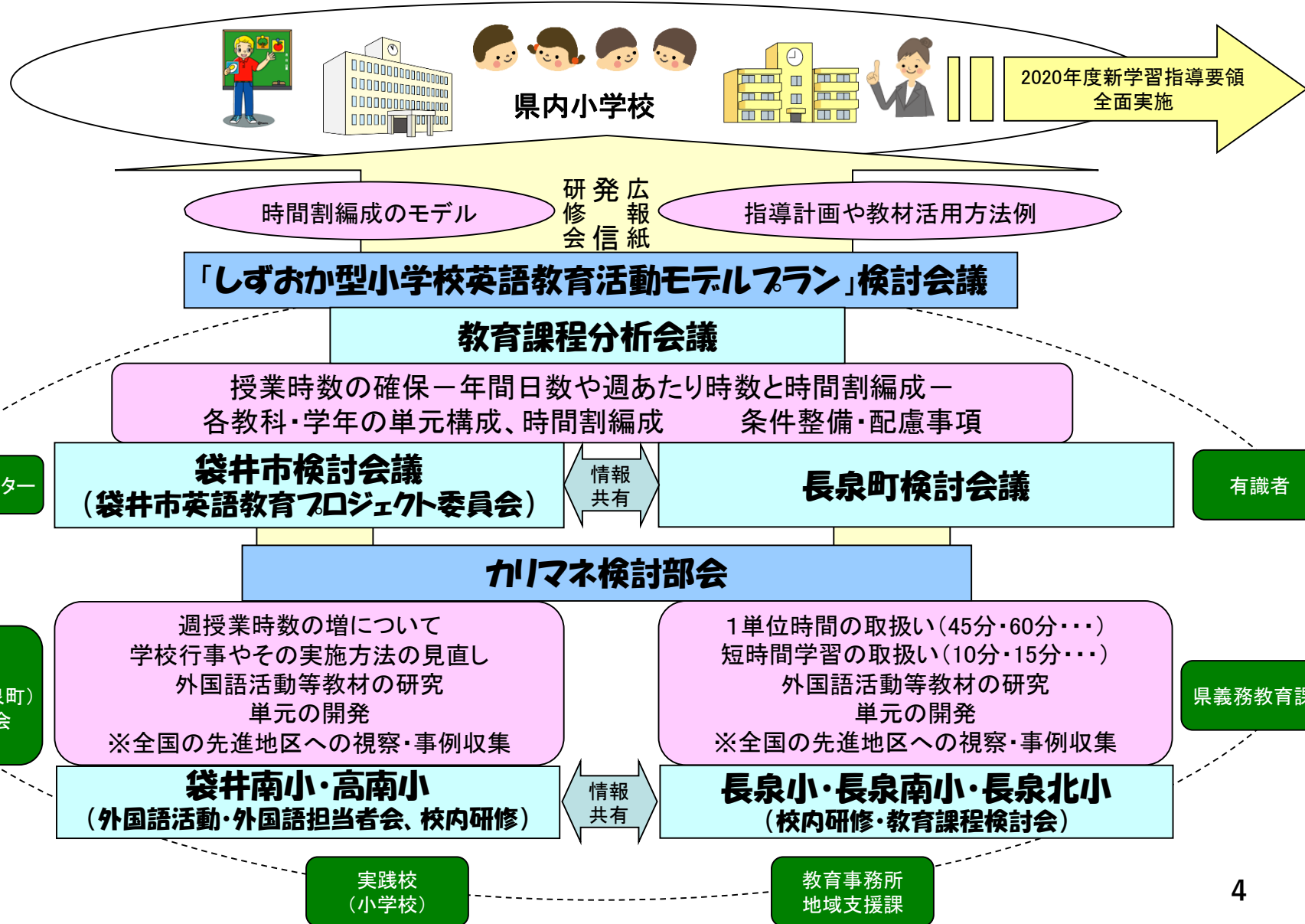
本日の内容

- 1 静岡県教育委員会における教育課程編成・時間割編成の考え方
- 2 静岡県教育委員会管内における教育課程編成・時間割編成の状況
- 3 実践校の研究

1 静岡県教育委員会における教育 課程編成・時間割編成の考え方

「しずおか型小学校英語教育活動モデルプラン」開発事業

各地域や学校の実情に応じた多様な時間割を編成するにあたり、しずおか型のモデルプランを開発・発信していくことで、各学校が独自の教育課程編成及び教育効果を高めるための指導計画、教材等のあり方を検討できるようにする。



県内外の教育課程編成・時間割編成の事例収集 教育課程分析会議

事例A 年間授業日数の増加

吉田町教育委員会 (吉田町立小中学校)

6時間授業日の削減及び
4時間授業日の設定を可能に

年間授業日数 平成28年度 206日 → 平成29年度 210日

〈授業4時間以内日の設定 (平成28年度→平成29年度)〉

- ・住吉小 24日 → 37日(13日増加) ・中央小 16日 → 35日(19日増加)
- ・自彊小 29日 → 34日(5日増加) ・吉田中 18日 → 34日(16日増加)

〈平成29年度の成果〉

○ 平均退庁時刻の早期化 (任意の授業4時間以内日2回調査)

(5時間授業日の平均退庁時刻 午後7時4分)

1回目: 授業4時間以内日の平均退庁時刻 午後6時18分

2回目: 授業4時間以内日の平均退庁時刻 午後5時36分

○ 教職員の受け止め

- ・ゆとりをもって授業の準備ができた。
 - ・じっくり教材研究に取り組むことができた。
 - ・計画した業務を集中して進めることができた。
 - ・学年会でじっくり子どものことについて話をすることができた。
- など

事例B 短時間授業 (朝:国語)

裾野市立富岡第二小学校

短時間授業に適した
教科の検討

〈短時間授業の経緯〉

平成23年度～

週3回 8:10～8:25(朝の会の後)
読み・書き・計算スキルの反復学習
授業時数(年30時間)としてカウント

平成26年度

算数内容での授業に変更

算数の15分授業では、計算練習や復習等しかできず、新しい内容を指導することが難しい。一方で、45分のコマでも計算練習をやりたい場面がある。結果的に進度の維持のために内容を急いで教えることになった。

平成27年度～

国語内容での授業に変更 国語の内容であれば15分で完結できる。

平成28年度～

国語内容にハピハピトークタイム(思いや考えを伝え合う時間)を追加
8:00～8:15(朝の会の前)に時刻変更



県内外の教育課程編成・時間割編成の事例収集 教育課程分析会議

事例C 短時間学習（外国語活動） 京都市立第四錦林小学校

外国語を短時間授業
で行う効果の検討

〈第四錦林小学校の研究から明らかになったこと〉

・短時間学習の効果を高めるためには、**意図的・計画的な短時間学習**とする**必要性**がある。

単元に組み込む短時間学習を、単元に関連した内容で実施したA学級と関連していない内容で実施したB学級を比較したところ、児童の自己評価や表現への慣れ親しみの度合いに差が見られた。

児童の自己評価では、A・B学級では20～30%の差

↓
短時間学習を授業と効果的に組み合わせることで単元を構成することが、児童の表現に慣れ親しむ過程で支援になる。

↓
**短時間授業を単元の学習計画に位置付ける。
短時間授業を含んだ年間計画をつくる。**

事例D 長時間授業

藤枝市立朝比奈第一小学校

長時間授業に適した
教科の検討

〈平成29年度の取組〉

実施曜日・時間

月曜日5校時 45分+30分授業

水曜日5校時 45分+15分授業

学習内容

4年：隔週で、理科－総合を入れ替えて実施

5・6年：隔週で、図工－総合を入れ替えて実施

連続で行っても児童の負担になりにくい教科、準備や片付けに時間の必要な教科で実施

- ・バス通学（1時間に1本）の児童や遠方から徒歩通学している児童をできるだけ早く帰す。
- ・教員の教材研究の時間の確保

朝比奈第一小学校日課表

	月	火	水	木	金
8:00	昇学準備	全校学習	読書	全校学習	読書
8:15					
8:20	1	1	1	1	1
9:05					
9:10	2	2	2	2	2
9:55	2.5分単位 (運動タイム)				
10:20	2.5分単位	2.5分単位	2.5分単位	2.5分単位	2.5分単位
10:25					
11:10	3	3	3	3	3
11:15					
12:00	給食	給食	給食	給食	給食
12:40	ロング	昼休み	昼休み	昼休み	ロング
13:05	昼休み				昼休み
13:10		掃除		掃除	
13:20					
13:25	5校時		5校時		
13:55			モジュール15分		
14:10					
14:15	モジュール30分		ほぐくみタイム		ほぐくみタイム
14:40					
14:50	帰りの会				
15:00					
15:10		帰りの会	帰りの会	帰りの会	帰りの会
15:15					
15:20					
15:25					
15:30					
15:35					
15:40					
15:45					
15:50					
15:55					
16:00					
16:05					
16:10					
16:15					
16:20					
16:25					
16:30					
16:35					
16:40					
16:45					
16:50					
16:55					
17:00					
17:05					
17:10					
17:15					
17:20					
17:25					
17:30					
17:35					
17:40					
17:45					
17:50					
17:55					
18:00					
18:05					
18:10					
18:15					
18:20					
18:25					
18:30					
18:35					
18:40					
18:45					
18:50					
18:55					
19:00					
19:05					
19:10					
19:15					
19:20					
19:25					
19:30					
19:35					
19:40					
19:45					
19:50					
19:55					
20:00					
20:05					
20:10					
20:15					
20:20					
20:25					
20:30					
20:35					
20:40					
20:45					
20:50					
20:55					
21:00					
21:05					
21:10					
21:15					
21:20					
21:25					
21:30					
21:35					
21:40					
21:45					
21:50					
21:55					
22:00					
22:05					
22:10					
22:15					
22:20					
22:25					
22:30					
22:35					
22:40					
22:45					
22:50					
22:55					
23:00					
23:05					
23:10					
23:15					
23:20					
23:25					
23:30					
23:35					
23:40					
23:45					
23:50					
23:55					
24:00					

県内外の教育課程編成・時間割編成の事例収集 教育課程分析会議

事例E 午前5時間授業
焼津市立黒石小学校

児童の授業時間増と教員
の執務時間増の検討

事例F 午前5時間授業
西伊豆町立賀茂小学校

学校・家庭・地域の
連携の検討

〈午前5時間授業の導入に向けた放課後の時間の活用〉

学校・家庭・地域の連携 「放課後サポート」

- ・放課後サポートについては、保護者・住民・老人会等に働きかけ、内容を理解してもらった上で、協力を求めていく。
- ・放課後サポートには、担任は一切関わらない。担任はその時間を教材研究の時間に充てる。

- ア 学習サポート(地域)
- イ 体験サポート(保護者・老人会)
- ウ 学習ソフト「天神」サポート(地域・自校支援員)
- エ 英会話サポート(自校ALT)
- オ バスケットサポート
(西伊豆町配置のスポーツエクステンジアドバイザー)



- ・放課後サポートが、保護者や地域の方の特技を生かす場となったり、子どもをみんなで育てていこうという気持ちが高まったりすることにつながっている。
- ・子どもたちは老人会の方から、輪投げのルールを教えてもらったりグランドゴルフで的を狙うコツを教えてもらったりする中で、人の話をしっかり聴いて内容を理解しようとするなどの態度が見られるようになった。

〈午前5時間授業導入の基本方針〉

学校は何をすところかとの問い直し
→「授業を通して子どもを育てる」こと



「黒石の授業づくり」に向けた「午前5時間授業」
児童の授業時間数増

+

教職員の執務時間増(勤務時間内)
→教材研究・授業準備・児童理解



週5日制の主旨を変えない。

→地域に子どもをかえすことにより子どもを伸ばす。
【家庭・地域との連携による共育】

学校・家庭・地域の役割をもう一度捉え直す。

県内外の教育課程編成・時間割編成の事例収集 教育課程分析会議

事例G 45分授業のコマを週一つ増やす

袋井市立袋井南小学校

「しずおか型小学校英語教育活動
モデルプラン」開発事業実施校

学校行事の
見直し

事例H 45分授業のコマを週一つ増やす

長泉町立南小学校

「しずおか型小学校英語教育活動
モデルプラン」開発事業実施校

大切にしたいことを残す
ための日課表の話合い

〈学校行事の見直し〉

活動仕分け

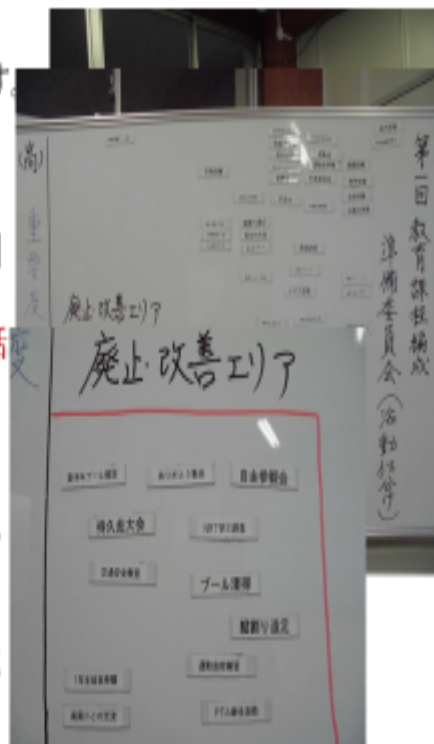
教育課程編成会議準備作業として、**学校行事・活動の学校
教育目標達成の「重要度」「効果」の判定を教職員が行う**

目的

- ・教育活動を見直し、教育課程のスリム化を目指す。
- ・教職員の学校運営に対する参画意識を高める。

見直しの流れ～校長の方針の下に～

- ①個人の「重要度」「効果」の判定【行事实施後】
- ②学年の「重要度」「効果」の話合い【学期末】
- ③活動仕分け委員会での改善・廃止が必要な活動の割り出し【11月】
順位付け表に表示し、改善・廃止エリアを決定
- ④改善・廃止対象の学年会での話合い【12月】
廃止、改善、現状維持のいずれかを決定する。
改善・廃止の場合は代案を提出する。
- ⑤第2回活動仕分け委員会での話合い【12月】
- ⑥さらに話し合う必要があるものは教育課程編成
会議で話し合う。



〈平成30年度の教育課程編成（英語教育の先行実施）に向けて〉

5月 ①教育課程編成に係る校内研修会

「45分授業のコマを週一つ増やすだけでは、多忙化が進み、必要な会議や話合いの時間が確保できない」→日課表・教育課程(年間計画)の見直し

〈教職員による率直な意見交換〉

- ・児童の休み時間の確保、委員会活動の充実、安全な下校時刻の維持など無理のない学校生活環境を守りたい。
- ・自校の特色である朝の15分(みなみタイム)を使った読書推進、体力増進の機会は極力残していきたい。
- ・月木金の6時間の日の日課は変えない。一コマ増やす火曜日の日課の検討

②各学年における検討→主幹教諭集約

6月 運営委員会・職員会議での検討

7月 運営委員会・職員会議での方向性決定

- ・火曜日の日課:午後の清掃をなしとし、帰りの会を短縮する。
- ・行事の見直し:家庭訪問・個別面談の在り方、みなみタイムの使い方

9月5日(火)、12日(火)、26日(火)の3日間の試行

10月 試行の振り返り

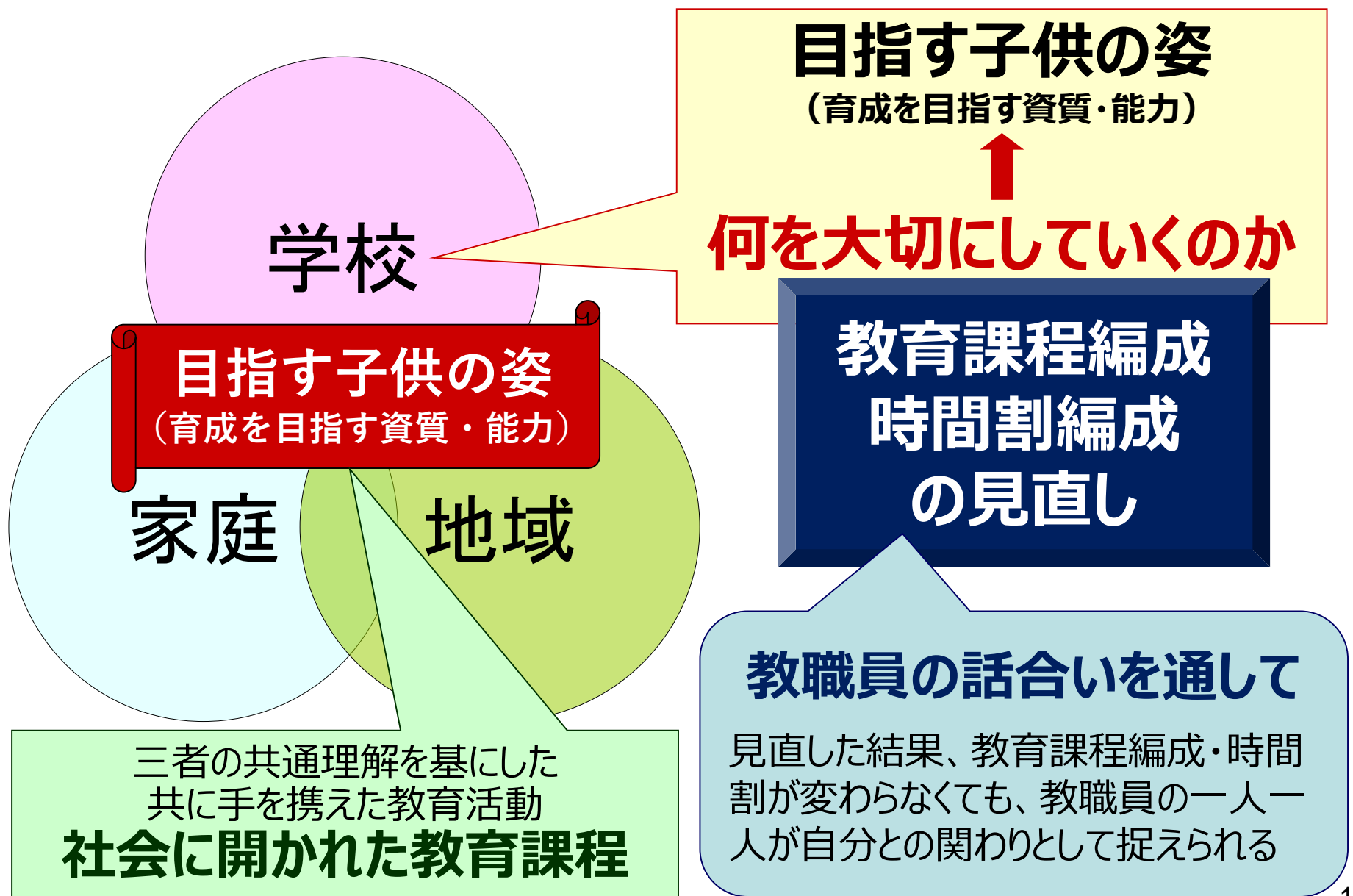
- ・みなみタイムのあり方をもう一度見直すことを話し合う。

市町教育委員会及び学校において、組織的・計画的な教育の質的向上を図るカリキュラム・マネジメントの考え方に則り、児童生徒や学校・家庭・地域の実態を踏まえて決定していく。



これまでの踏襲ではなく、**学校教育目標**
実現の視点から「見直す」ことが大切

静岡県教育委員会の教育課程編成・時間割編成の考え方



目指す子供の姿

(育成を目指す資質・能力)



何を大切にしていくのか

学校

目指す子供の姿

(育成を目指す資質・能力)

家庭

地域

教育課程編成

時間割編成

の見直し

教職員の話し合いを通して

見直した結果、教育課程編成・時間割が変わらなくても、教職員の一人一人が自分との関わりとして捉えられる

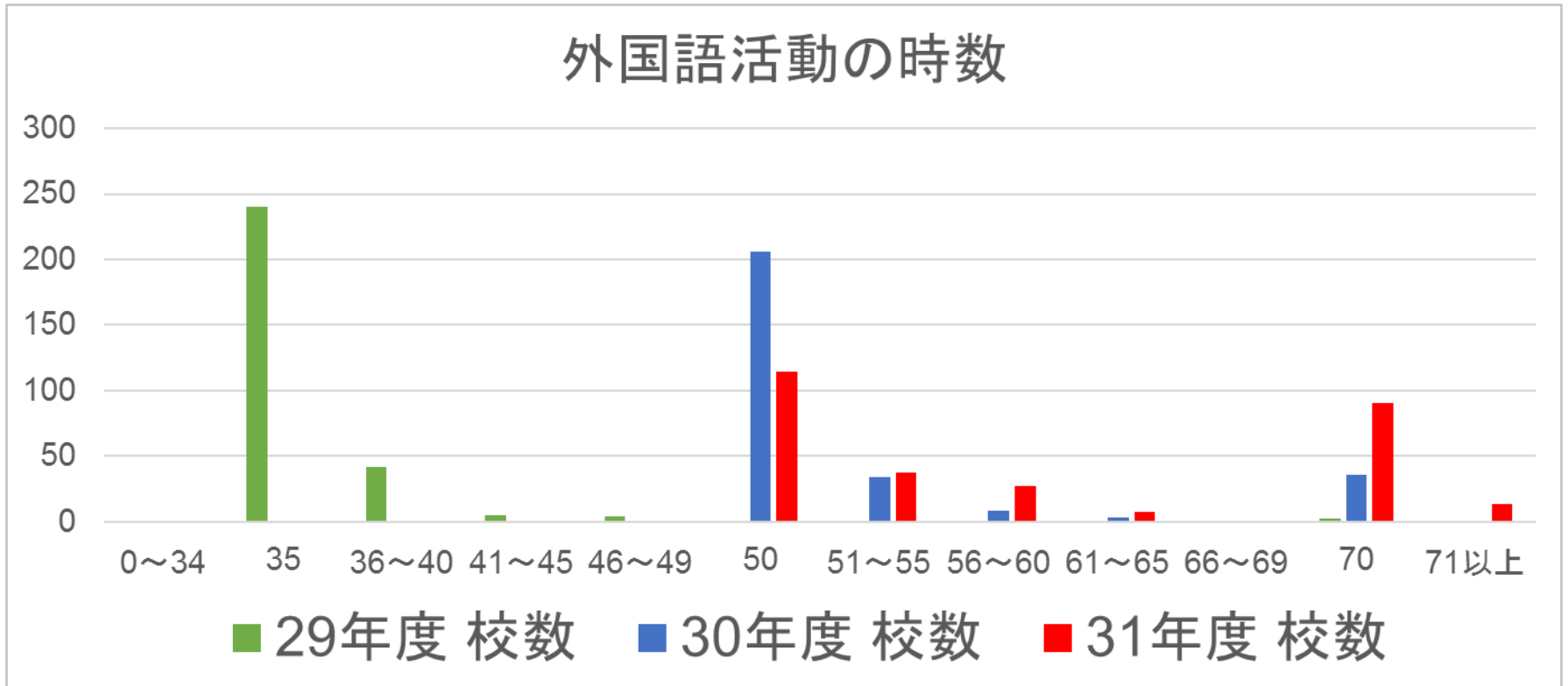
三者の共通理解を基にした
共に手を携えた教育活動
社会に開かれた教育課程

2 静岡県教育委員会管内における 教育課程編成・時間割編成の状況

外国語活動の実施時数

【第6学年】

※教育課程の特例が認められている学校及び第6学年に児童が在籍しない学校は、集計から除外した。



70単位時間以上実施している小学校

H30 : 12.8% (全国 : 29%)

H31 : 35.8% (全国 : 43%)

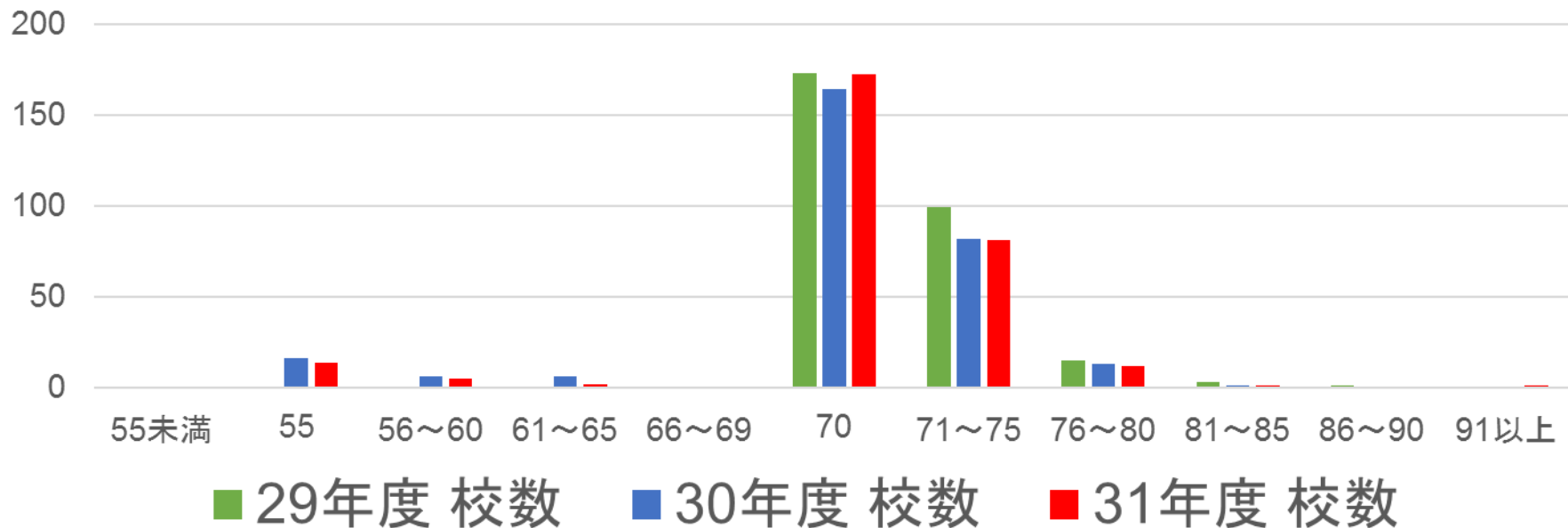
※全国の数値: 文部科学省「移行期間中の授業時数調査(外国語教育)」平成30年5月現在 より

総合的な学習の時間の実施時数

【第6学年】

※教育課程の特例が認められている学校及び第6学年に児童が在籍しない学校は、集計から除外した。

総合的な学習の時間の時数



移行期間の措置を活用した小学校

H30 : 9.8% (全国 : 28%)

H31 : 7.3% (全国 : 24%)

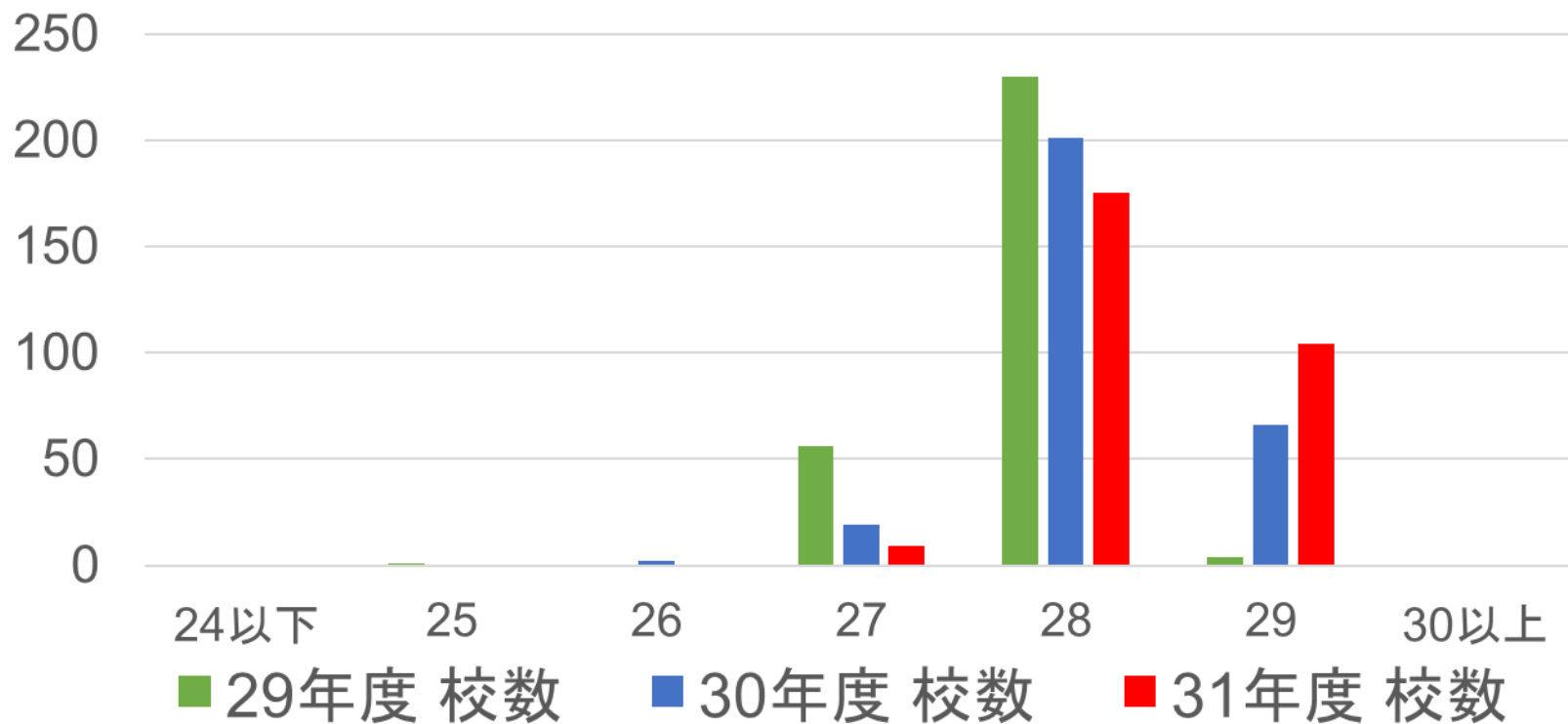
※全国の数値:文部科学省「移行期間中の授業時数調査(総合的な学習の時間)」平成30年5月現在 より

週当たりの授業のコマ数

【第6学年】

※教育課程の特例が認められている学校及び第6学年に児童が在籍しない学校は、集計から除外した。

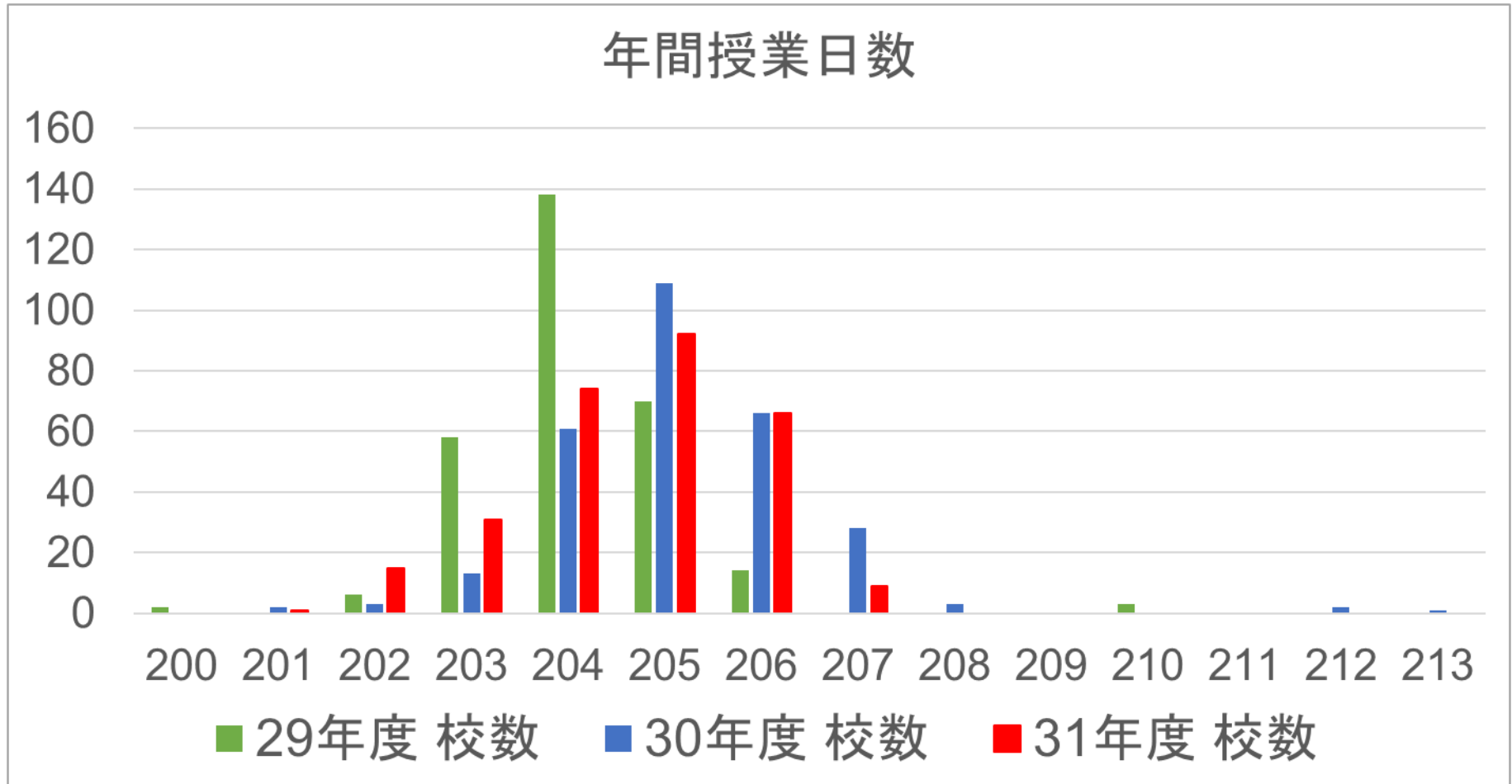
週授業コマ数



【平均】 H29 : 27.8コマ H30 : 28.1コマ H31 : 28.3コマ

年間授業日数

※教育課程の特例が認められている学校及び第6学年に児童が在籍しない学校は、集計から除外した。



【平均】 H29 : 204.1日 H30 : 205.2日 H31 : 204.6日

外国語活動の時数増加に伴う時間割編成の方法(平成30年度)

集計数: 290校 (複数回答)

※教育課程の特例が認められている学校及び第3学年以上に児童の在籍しない分校は、集計から除外した。

- | | |
|--|------|
| ①年間授業日数を増加させて時間割を編成 | 140校 |
| ②週当たりの授業時数を増加させて時間割を編成
短時間や長時間の授業を設定 | 41校 |
| ③週当たりの授業時数を増加させて時間割を編成
45分授業のコマを増やして設定(特定期間でのコマ数増も含む) | 143校 |
| ④総合的な学習の時間から15単位時間を越えない
範囲で授業時数を減じて時間割を編成 | 29校 |
| ⑤その他(教科領域等の予備時数を減らすなどして)
時間割を編成 | 92校 |

外国語活動の時数増加に伴う時間割編成の方法(平成31年度)

集計数: 290校 (複数回答)

※教育課程の特例が認められている学校及び第3学年以上に児童の在籍しない分校は、集計から除外した。

- | | |
|---|------|
| ①年間授業日数を増加させて時間割を編成 | 30校 |
| ②週当たりの授業時数を増加させて時間割を編成
短時間や長時間の授業を設定 | 41校 |
| ③週当たりの授業時数を増加させて時間割を編成
45分授業のコマを増やして設定 (特定期間でのコマ数増も含む) | 171校 |
| ④総合的な学習の時間から15単位時間を越えない
範囲で授業時数を減じて時間割を編成 | 26校 |
| ⑤午前中5時間授業の日を設定 | 10校 |
| ⑥その他(教科領域等の予備時数を減らすなどして)
時間割を編成 | 122校 |

時間割編成の方法を選択した理由（平成30年度）

集計数：290校（複数回答）

※教育課程の特例が認められている学校及び第3学年以上に児童の在籍しない分校は、集計から除外した。

- | | |
|-------------------|-----|
| ・子どもの負担を考えて | 83校 |
| ・全面実施を見据えて | 54校 |
| ・子どもの生活リズムを変えないため | 48校 |
| ・子どもの学習効果を考えて | 38校 |
| ・教師の負担を考えて | 31校 |
| ・会議・研修時間の確保のため | 19校 |
| ・その他 | 51校 |

3 実践校の研究

＜静岡県実践校＞

長泉町立長泉小学校
長泉町立南小学校
長泉町立北小学校

袋井市立袋井南小学校
袋井市立高南小学校



長泉町の研究

＜長泉町実践校＞

長泉町立長泉小学校
長泉町立南小学校
長泉町立北小学校



【特産品】あしたか牛

人口 43,185人 世帯数 18,022世帯
2018年4月1日現在

平成29年度の研究

教育課程・時間割編成の
研究と試行

外国語活動の授業づくり

授業日数：206日

平成30年度の研究

教育課程・時間割編成の
効果検証

外国語活動の授業づくり

授業日数：208日

袋井市の研究

＜袋井市実践校＞

袋井市立袋井南小学校

袋井市立高南小学校



人口 87,938人 世帯数 33,937世帯
2018年4月1日現在



【特産品】
クラウンメロン

ラグビーワールドカップ2019開催地（エコパスタジアム）

ふくろい まるごと インターナショナル Hello from Fukuroi

平成29年度の研究

教育課程・時間割編成の
効果検証

外国語活動の授業づくり

予備時数を活用した
外国語教育

平成30年度の研究

教育課程・時間割編成の
よりよい工夫改善

外国語活動の授業づくり

市内全小学校（12校）での
外国語活動の先行実施

実践校の研究の内容

(1) 短時間（15分）授業を実施する

長泉町立北小学校

(2) 週時数を1コマ増やす

長泉町立南小学校

袋井市立袋井南小学校

袋井市立高南小学校

(3) 週時数の1コマ増+60分授業の実施

長泉町立長泉小学校

(1) 短時間授業 【長泉町立北小学校】



学校教育目標
感じ かかわり やる気いっぱい 北小の子
 ◆◆卒業式で中学校に入学してからの夢や目標を自分に言葉で語れる子供◆◆

感じ	かかわり	やる気いっぱい
五感で感じ情報を得る力 * 感じて自分の中で考える * 情報を自分自分で選択し処理する。	自分の考えを表現し伝える力 * 人の考えを聞き自分の考えを伝える * 創造した自分の考えを、いろいろな表現方法で人に伝える、届ける。	意欲的に実践していく力 * 人が想像した考えを意欲的に実践する * おきめのない、やり続ける * 夢や目標を実現しようとして粘り強く取り組む

45分後の未来を創造する授業	1年後の未来を創造する学年・学級	地域に小さな幸せを届ける挨拶
45分後の子供たちの姿をイメージした目標設定 使える事 考える できる事 知っている	1年後の子供の姿をイメージした「見える目標設定」 児童 = 参加 → 参画 → 自立 教員 = 指導 → 支援 → 応援	「挨拶」でお隣に住む方たちに小さな幸せを届ける社会貢献活動 (1) 挨拶をする (2) 挨拶をした相手の反応を感じる (3) 相手が気持ちよくなる挨拶をする

経営理念(合言葉) **「あなたが大切」**

「何のために行うのか」「いつまでに達成を目指すのか」「何をもちて達成したとするのか」

- 目指す子供の姿**
- ◆何事にも意欲的に取り組む子供
 - ◆「わかる」に支えられた知識・技能を使い、伝えることができる子供
 - ◆参加から参画へ、そして自立する子供
 - ◆しあわせを運ぶ挨拶ができる子供
 - ◆平和を愛する子供

- 目指す教師の姿**
- ◆学び続ける教師集団
 - ◆子供の変化に気づく教師
 - ◆子供の変化に最早く対応する教師
 - ◆結果を精らずじっくり解決する教師
 - ◆対応をこまめに報告する教師
 - ◆子供の良さを見つけ伸ばす教師



北小の誓い

北小は学力だけをつけているのではない。社会の平和に貢献する人を育てていくのだ。

北小は平和を愛する人づくりをします。北小は子どもたちの夢を信じてみます。北小は未来社会を生きぬく力を信じてみます。北小は「あいさつ」で地域社会に小さな幸せを届けます。北小の授業は45分後の未来を創造します。

児童数：898人
 学級数：30学級
 教職員数：46人
 (平成30年5月1日現在)



学校教育目標

感じ かかわり やる気いっぱい 北小の子

◆卒業式で中学校に入学してからの夢や目標を自分の言葉で語れる子供◆

感じ：五感で情報を得る力

かかわり：自分の考えを表現し伝える力

やる気いっぱい：意欲的に実践していく力

目指す子供の姿

- ・何事にも意欲的に取り組む子供
- ・「わかる」に支えられた知識・技能を使い、伝えることができる子供
- ・参加から参画へ、そして自立する子供
- ・しあわせを運ぶ挨拶ができる子供
- ・平和を愛する子供

(1)短時間授業【長泉北小】 研究の内容

短時間授業を実施し、
その効果・改善点を検証する



3～6年生：週3回、朝15分の短時間授業を実施

8:10～8:25 始業8:00 (8:00～8:10朝の会)

【H29】国語・算数 (曜日により教科固定)



【H30】国語・算数中心+体育・学活

(年間指導計画との関連から各学年が教科を
定めて学習計画を作成して実施)

※子供にとって効果的な学習ができたか検証を進める。

(1)短時間授業【長泉北小】 成果と課題

子供の視点から

- 短時間のため、基礎的・基本的な内容に子供が意欲を維持して取り組むことができる。
→**スピード感のある授業により子供の集中力が切れない。**
- 漢字・計算練習を繰り返し行うことができるので、基礎的内容の定着が図れた。
→**触れる機会・頻度の充実が記憶の定着に有効。**
(週1回の45分での反復学習より週3日の15分での反復学習)
- 基礎的内容の学習が中心になっていたので主体性や学びに向かう力は育まれにくい。
- 単元の学習の一環という意識はもちにくい。

(1)短時間授業【長泉北小】成果と課題

教職員の負担の視点、校務運営の視点から

- 日課を大きく変更せずに授業時間数増に対応できる。
- 放課後の時間を確保でき、研修時間や事務処理時間を確保できる。
- 基礎的・基本的な知識技能を短時間授業で定着することができる。
- 全校体制で計画的に行うことが難しい。**
 - ・全校一斉で曜日ごとに短時間授業の教科を決める。
→教科の進度と教科内容が合わない。
 - ・学年学級ごと教科内容の進度に合わせて短時間授業を進める。
→計画的な指導ができず、時数管理が難しい。
- 転任者には短時間授業の意図や効果の深い理解に時間がかかる。

地域との関係の視点から

- 子供たちが外国語活動を楽しみにしていることを保護者や地域の方は喜んでいる。

(2)週時数1コマ増 【長泉町立南小学校】

平成30年度 長泉町立南小学校グランドデザイン

町民の教育理想
長泉町の教育理想

夢のある子
重点目標 めあてをもってがんばる子

社会の賢識
学習指導要領

学校経営目標

子どもが楽しく感じる学校づくり 学校が楽しい子 94%

- 協働的な学びを大切に、子どもの学びの充実。
- 望ましい集団づくり。
- 子どもから、保護者から、地域から信頼される職員集団。

研修テーマ 一人一人が「分かる」授業づくり



思いやりのある子

- ・あいさつをする
- ・感謝の気持ちを表現する
- ・礼儀正しくする
- ・白他の命を大切にす
- ・約束を守る
- ・責任を果たす
- ・互いのよさを認め合い、共に伸びようとする

あいつがみんなあつても90%

進んで学ぶ子

- ・なかまとともに学ぶことに喜びを感じる。
- ・自ら進んで学習に取り組む。
- ・授業の「振り返り」をする。
- ・読書ががんばる。
- ・ミナクル16達成80%
- ・毎日、家庭学習ががんばる。

授業がわかる子90%

心と体をきたえる子

- ・基本的な生活習慣(早寝・早起き・朝ごはん)が身に付く
- ・進んで体力づくりをする
- ・朝マラソンをがんばる。
- ・掃除をがんばる。(感謝清掃)
- ・整理整頓を心がける

進んで体力づくりできる子90%

頼もしい教職員

- ・子どもとの信頼関係を結ぶ。
- ・子どもの思考を大切にした授業を組み立てる。
- ・子どもの学習意欲を高める。
- ・学習問題や疑問を大切にす。
- ・計算・漢字等の基礎学力の定着に力を入れる。
- ・授業の質を高める意識をもつ。

心豊かな子どもたち

- ・あいさつがよくできる。
- ・スーパーキャプテンが下級生のおこがれになっている。
- ・登校班でいつも一列に安全に歩ける。
- ・ありがとうが書える。
- ・昼休み、学級のみんで遊ぶ。
- ・ゴミが落ちていない学校。

働き、つながる学校

- ・地域とつながり、地域に関わられた教育活動の充実を図る。
- ・学校の情報、子どものがんばりを学校だより、ホームページで発信する。
- ・学校支援ボランティア（保護者を含む）の活用を促進し、学校への信頼を深める。

- ☆ 若手はベテランに学び、ベテランは若手に学び育てよう
- ☆ 地域からの学校への信頼を深めよう
- ☆ 3つの合言葉「あいさつ」「ありがとう」「整理整頓」を意識しよう

児童数：780人
学級数：28学級
教職員数：40人
(平成30年5月1日現在)



学校教育目標
夢のある子

重点目標
めあてをもってがんばる子

目指す子供の姿
○思いやりのある子

(あいさつ・感謝の表現・責任を果たす・互いのよさを認め合い、共に伸びようとする)

○進んで学ぶ子

(なかまとともに学ぶ喜びを感じる・進んで学習に取り組む・読書)

○心と体をきたえる子

(進んで体力づくりをする)

(2) 週時数1コマ増 【長泉南小】 研究の内容

週時数を1コマ増やす

4～6年生：週28コマ→週29コマ

3年生：週26コマ→週27コマ



【H29】 期間を決めて検討した日課を試行

① 会議時間確保のため特定曜日だけ下校を早める

② 朝活動の時間を清掃時間とし、下校を早める

(全ての曜日を同じ日課にする)



【H30】 上記②の方法を実施

※週1時間増が子供・教員・保護者・地域にとってどのくらい有効なのか、改善点はどこか検証する。

子供の視点から

- 午前 の 時間割 や 休み時間 の 変更 が なかっ た た め、子 供 は スムーズ に 日課 変 更 に 対 応 で き た。特 に、**特別な支援を必要とする児童の精神的安定が保たれながら日課変更できたことは有効だった。**
- 平均 下 校 時 刻 が 早 く な る こ と に よ り、生 活 に 余 裕 が 生 ま れ た。

教職員の負担の視点、校務運営の視点から

- 確 実 な 外 国 語 活 動 の 授 業 時 数 の 確 保 が で き た。ま た、週 + 1 時 間 の ス タ イ ル は わ か り や す く、他 教 科 の 時 数 も **無理なく** 標 準 時 数 を こ な す こ と が で き て い る。
- 放課後の時間増により教材研究が充実**した。会 議 を 週 の 前 半 に 集 中 さ せ、週 の 後 半 は 各 自 の 裁 量 で 使 う こ と が で き る よ う に し た こ と に よ り、担 任 が 学 級 ・ 学 年 に 必 要 な こ と に 取 り 組 め て い る。

(2) 週時数1コマ増 【長泉南小】 成果と課題

地域との関係の視点から

- 放課後子供教室「のびのびスマイル」のスタートの時刻が固定できスタッフの方にも好評であった。

<新日課への保護者の意見【H30】>

- 早く帰ることができながら、外国語活動に取り組むことができるのはとても効率的で良い。
- 帰宅時間が早まったことで、宿題などゆとりをもって取り組むことができている。
- 朝清掃により子供が朝からすっきりして気持ちいいと話している。
- 子供は友達と遊ぶ時間が増えてうれしそう。たくさん遊んですっきりして帰ってくると姉妹喧嘩も減り、宿題もはかどっている。
- 最近、子供を対象とした事件や不審者問題が多発している。新日課のように下校時刻が早くなれば少しでもトラブルが減ると思う。
- 早い帰宅は、体を休めたり、勉強に充てたりする考えで行われていると思うが、子供は遊びに行く日が増えているだけである。

(2) 週時数1コマ増【袋井市立袋井南小学校】

平成30年度 袋井市立袋井南小学校グランドデザイン

市の教育理念
「有徳の人づくり」

校訓
正しく 仲よく 根気よく

市の教育理念
「心ゆたかな人づくり」

目指す学校像(学校経営目標)

「いのち」を大事にし「えがお」があふれる学校

教育理念 「子どもを見取り、自己成長を引き出し、社会力を高める」

- 子どもに「共感」し、子どもの心を知ろうと努力し、子ども理解を深める
- 子どもの「今」をスタートとして捉え、子どもの成長を何よりの喜びとする

学校教育目標

ともに かがやく子

<重点目標>

- 考え表現する力 ●チャレンジする力 ●人を大切にする心

居場所づくり

焦点化・可視化・スリム化
PDCAのサイクル化

絆づくり

徳：心づくり

- 主体的に取り組むクローバー運動
- 学校を動かす委員会活動

知：学びづくり

- コミュニケーション力を高める授業づくり
- 基礎基本の定着

体：体づくり

- 目標達成に向けた運動の習慣化

成果指標

- 大きな声であいさつをする90%
- 時と場に応じた言葉で話す90%
- 学校が楽しい90%
- みんなと何かをするのが楽しい90%

成果指標

- 授業がよく分かる80%
- 授業に主体的に取り組んでいる90%
- 進んで読書活動に取り組む90%
- 外国語活動が楽しい80%

成果指標

- 目標に向かって運動に取り組む90%
- 命の大切さを認識する90%
- 交通ルールを守る90%
- 好き嫌いをなく給食を食べる80%

縦の接続(魅力ある小中一貫校づくり)

- 袋井南中学校区目標
「社会力を身につけた児童生徒の育成」
○保幼小連携 ○小小連携 ○小中一貫

横の連携(家庭・地域との連携・協力)

- コミュニティスクール(学校運営協議会)
- 南っ子支援隊(袋井南まちづくり協議会)
- 南っ子いよ子の5か条(家庭)

評価
○児童・保護者・職員の評価アンケート
○学校運営協議会
○民生児童委員との懇話

安心安全な学校づくり

《子どもの命を守る》

発信
○学校/ウェブサイト作成
○学年・学級懇話会
○学年・学校だよりの発行
○ホームページの更新

児童数：567人
学級数：20学級
教職員数：36人
(平成30年5月1日現在)

学校教育目標
ともに かがやく子

重点目標


- 考え表現する力
- チャレンジする力
- 人を大切にする心

教育課題(目指す子供の姿)

- ・主体的に考え表現する力、チャレンジする力、人を大切にする心を育てる。
- ・自己有用感、自己肯定感に基づく自信をもたせる。

(2) 週時数1コマ増【袋井市立高南小学校】

平成 30 年度袋井市立高南小学校グランドデザイン



校 訓
強く 正しく 美しく

■「生きる力」
■「有徳の人」
■「心ゆたかな人づくり」

市の目標【「夢を抱き、たくましく次の一步を踏み出す 15 歳」の育成】

校区目標【社会力を身に付けた児童・生徒の育成】

めざす子ども像 「● 明るいあいさつ ● 元気な運動 ● いつでも笑顔」

学校教育目標【夢に向かって 笑顔でともに伸びようとする子】

重点目標「絆づくりと居場所づくりで『学校が楽しい』と言える児童を増やす」

【絆づくり】知・徳・体のバランスのとれた教育活動

<p>(知) 進んで学び合う</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇本道の得意を受けて、意見を言った得意いりできる子→80% ◇外国語で手んだことを使っておよぶ子→85% 	<p>(徳) 進んでつながり合う</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇あいさつのキャッチボールができる子 →90% ◇みんなのために働くことができる子 →90% 	<p>(体) 進んできたえ合う</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇体育的活動で、できた・のびたを表現する子 →90% ◇健康・安全のために守ることを実行できる子 →90%
--	--	--

Key word : 「主体的・対話的で深い学び」・「考え議論する」

子ども主体の「絆づくり」 組織運営の改善と充実 (PDCAサイクルによる好循環)
教師主体の「居場所づくり」

【居場所づくり】子どもたちの安心・安全と居心地のよい環境の確保

<p>居心地のよい環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 一人一人を認める学習づくり(そのつど評価) ○ 規律ある学校生活の習慣づくり(時・場・礼) ○ いじめ調査、生活アンケートの実施 ○ Q-Uの活用、教育相談の実施 	<p>安心・安全な環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 事故ゼロの目的実施、施設・設備の確認 ○ 通学路の安全点検、交通安全指導の継続 ○ 避難経路の周知、幼小中合同訓練の実施 ○ マニュアルの見直し・充実
---	---

Key word : 「任せる・待つ」・「そのつど評価」

運営目標「学校が楽しい」…75% (4段階の内「はい」の割合)

学校を支える「保護者との連携」・「コミュニティスクール」・「小中一貫教育」の推進

○学校評価・家庭の連携の実施と活用 ○学校運営協議会の実施と学校応援団の拡充 ○中学区合同研修会の充実

児童数：429人
学級数：15学級
教職員数：36人
(平成30年5月1日現在)

学校教育目標
夢に向かって 笑顔でともに伸びようとする子

重点目標
絆づくりと居場所づくりで「学校が楽しい」と言える児童を増やす

目指す子供の姿
(知) 進んで学び合う
(徳) 進んでつながり合う
(体) 進んできたえ合う

(2) 週時数1コマ増 【袋井南小・高南小】 研究の内容



週時数を1コマ増やす

4～6年生：週27コマ→週28コマ（+委員会・クラブ活動）

3年生：週26コマ→週27コマ

【H29】 予備時数を用いて、外国語活動を実施する

【3・4年生：週1単位時間、5・6年生：週2単位時間】

【H30】 移行措置期間の外国語活動先行実施

※子供及び教員の負担について検証し、学校行事やその実施方法の見直しを行う。

※外国語活動の移行期間の年間指導計画の作成を行う（H29）。

子供の視点から

- 外国語活動を45分授業で1コマ増加したことで、**子供の生活や学習のリズムを変えることなく**、同じ時間配分を維持することができた。
- 1週間または1日の**リズムを保った教育体制は、様々な特性をもつ子供がいる中で、特に大切な視点**であると感じた。
- 6時間の日が1日増加することによる子供の生活リズムの変化について養護教諭と確認してきたが、平成29年度以前と比べ、特に変化が見られなかった。
- 新教材「Let's Try!」「We can!」を活用し、「読む」「書く」に慣れ親しむ活動を計画的に授業の中に入れることができ、子供の英語力向上を図ることができた。

(2) 週時数1コマ増 【袋井南小・高南小】 成果と課題

教職員の負担の視点、校務運営の視点から

- **会議や行事等の内容の精選**により教員の多忙感解消につながった。
- 外国語活動に教員が慣れてきたため、負担や不安の声はほとんどなかった。
- 担当教員とALTが短時間で打合せをするなどの工夫により教員が時間を有効に使うことができた。
- 外国語活動の全授業を学級担任とALTのTT体制としたが、**役割を明確にし、ALTを効果的に活用するための研修**が必要である。

地域との関係の視点から

- PTA総会において、外国語活動の時数を増やすことや教員研修を推進し授業改善を進めていくことなどを、**地域・保護者に向けて説明を行ったため、理解を得ることができた。**

(3) 週時数の1コマ増+60分授業 【長泉町立長泉小学校】

平成30年度 長泉町立長泉小学校 グランドデザイン



児童数：1032人
学級数：33学級
教職員数：51人
(平成30年5月1日現在)

学校教育目標
自ら考え 高め合いながら 伸びる子

重点目標
進んで かかわり合う子

目指す子供の姿
＜キーワード：進んで かかわり合う＞
○考えてかかわり合う
自分の考えや思いを相手に伝える子
○感じてかかわり合う
相手の立場に立って行動できる子
○汗してかかわり合う
目標をもって頑張りぬく子



週時数を1コマ増やす

4～6年生：週28コマ（+委員会活動）

3年生：前期は週27コマ、後期は週26コマ

5・6年生の短時間・長時間授業を検討する

【H29】朝の時間を15分間（8:10～8:25）にし、週3回の短時間授業や60分授業を期間を決めて実施

始業8:00（8:00～8:10朝の会）



【H30】朝の時間から1校時までの60分授業を年間12回実施

※60分授業の有効性や改善点を検証する。

子供の視点から

- 外国語活動は、モジュール学習よりも45分間の授業の方が、子供の学び合いや活動の時間が保障でき、有効である。
- 体育、図工、総合的な学習の時間では、**45分よりも60分授業が学びを深めるのに有効な場合がある**。体育、図工では、準備や片付けを含めて、**子供の活動の時間を確保できた**。総合的な学習の時間でも、調べたり、調べたことをまとめたりする段階で、**60分授業は課題意識を継続して学習することができ、効果的**であった（5・6年生）。
- 週時数の増加は、3年生や4年生（特別支援学級を含む）には、集中して学習する上で負担になっている。時間を確保できても、子供たちの意欲や集中力を6時間目まで持続させるのは難しい場合がある。

教職員の負担の視点、校務運営の視点から

- 60分授業は、短時間授業より単元構想や授業構想を立てやすい。
- 週28時間の実施は、放課後の時間が少なくなり、全体での会議や研修、学年部会、個人で教材研究する時間の確保が大変難しい。会議や行事の精選をして、放課後の時間の確保につなげたい。
- 5・6年担任は授業担當時数が増え、担当教科数も多いため、教材研究や事務処理等に時間がかかり、1・2年担任との負担感の差が大きくなっている。事務補助職員に依頼できる業務を任せ、負担軽減につなげたい。

地域との関係の視点から

- 朝活動の時間を残したことで、読み聞かせ等ボランティアによる地域や保護者との連携は続けられている。

静岡県教育委員会の視点からの成果と課題

- 小学校の授業時数増の対応について、県の方針は示さず、決定は市町教育委員会及び学校とする方針を定めたことにより、市町教育委員会及び学校において地域や学区の子供の実態、教職員の勤務実態に応じた対応方法の研究が進んだ。

目指す子供の姿（育成を目指す資質・能力）の育成、子供の学びの質の向上、子供の負担感と教員の多忙化の解消等の視点で研究が進んでいる。

- 小学校の授業時数増の対応について研究する負担が生じるとともに、市町教育委員会や学校ごとに取組の進度や研究の効果が異なっている。

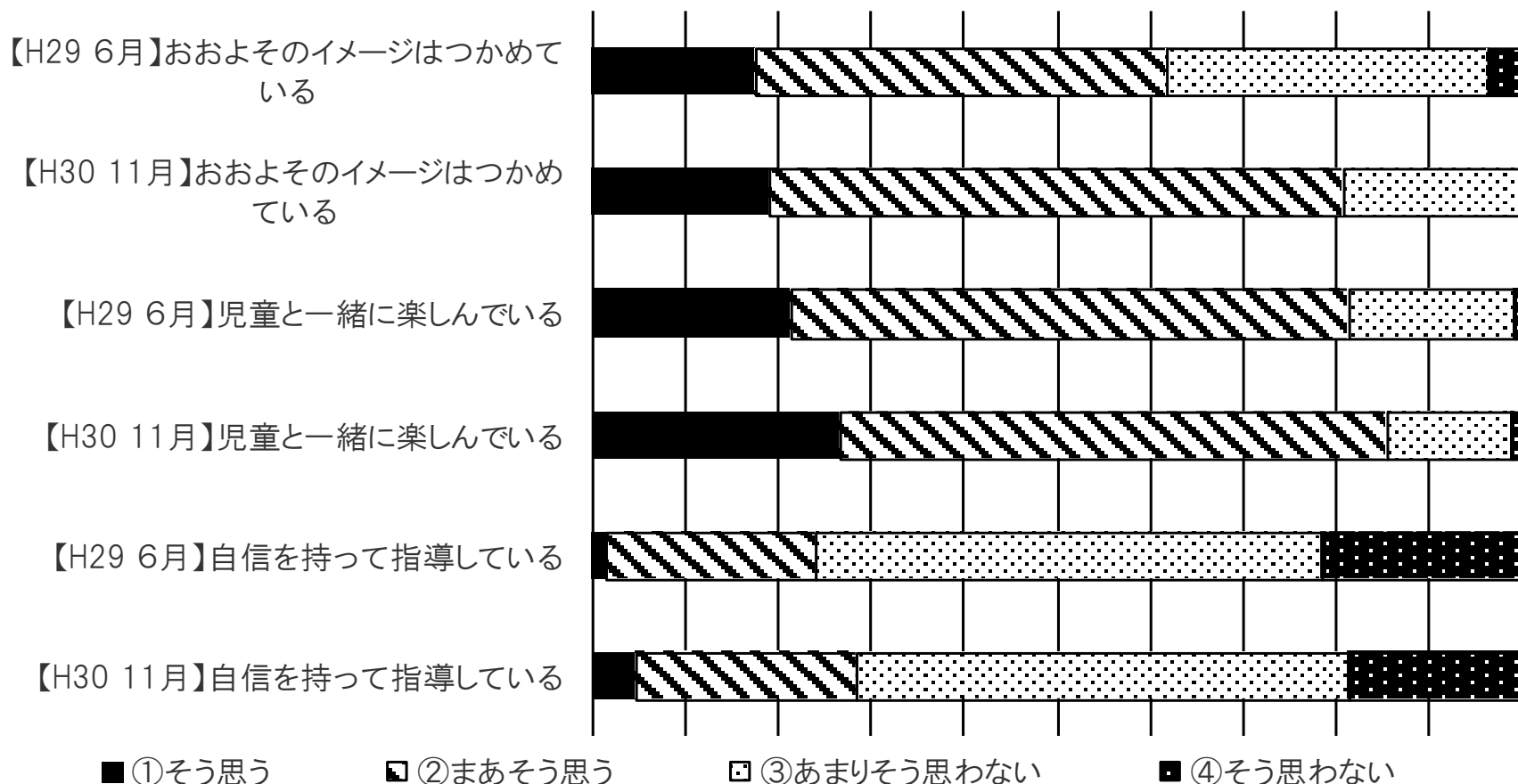
そのため、次年度も教育課程編成について管内各小学校の主幹教諭・教務主任が情報交換のできる場を設定していく必要がある。

静岡県教育委員会の視点からの成果と課題

教員の外国語活動に対する意識調査【実践校5校】

外国語活動(英語)に対してどのように感じているか

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



各項目の割合が、向上してきている

御静聴ありがとうございました

